



東京都知事杯

# 椿まつり フォトコンクール



結果  
発表

前年度入賞作品例

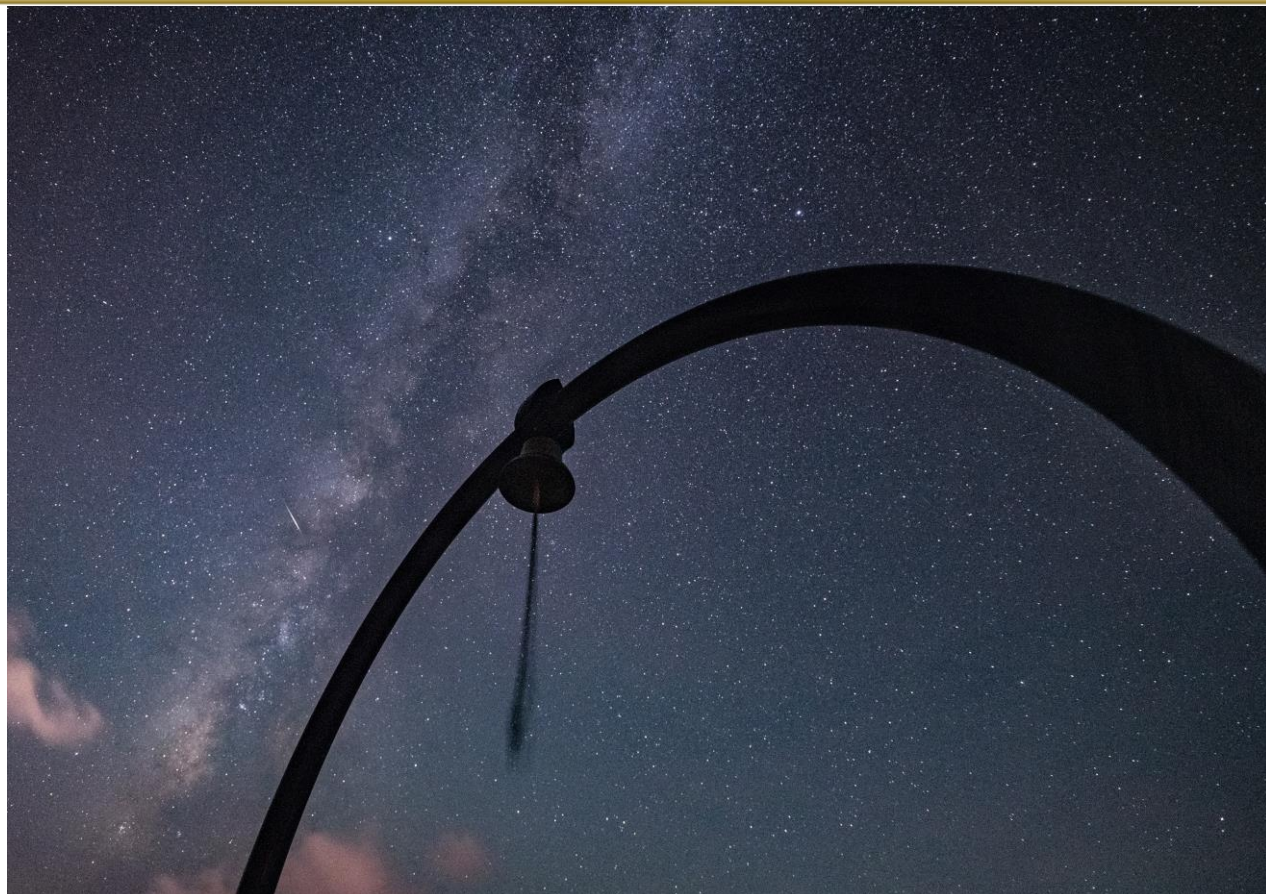
たくさんのご応募ありがとうございました。総応募数218作品の中から厳正なる審査の結果、最優秀賞1点・優秀賞2点・入選10点が選ばれました。おめでとうございます。



企画主催：一般社団法人大島観光協会 審査員：北山輝泰（星景写真家兼ビデオグラファー）  
後援：東京都、東京都大島町、東海汽船株式会社、東京新聞・東京中日スポーツ、全東京写真連盟



## 最優秀賞（1作品）



← 「星空とバディーズベル」  
岩崎稔友紀さま

<選評> 野田浜は少し市街地から離れていることもあり、夜暗くなると空いっぱいの星空を楽しむことができます。雄大に聳え立つ天の川とバディーズベルとのコラボが伊豆大島で見る星空の素晴らしさを物語っています。

## 優秀賞 (2作品)



↑「小さなあんこさん」矢作麻依さま

ご兄弟でしょうか。あんこさんの衣装を可愛く着こなしているお姉ちゃんと、半纏を着てニコニコと笑う弟さんの表情どちらも愛らしくてこちらも笑顔になりました。ご家族で過ごされている伊豆大島の温かなひと時がよく伝わります。



↑「曲線を描いてやってきた」山崎慎司さま

本土の熱海港を出航し、伊豆大島岡田港へと入港してくる一連の様子が一枚の写真に収められています。熱海港からはジェット船で45分。距離が近く気軽に行ける場所だということが再認識できる魅力的な一枚です。

## 入選 (10作品)



↑「わぁ〜！」中尾早紀さま

椿園の中で楽しく遊んでいるお子様の表情がとても可愛らしく写っています。明るい日差しが降り注ぎ、椿の絨毯が色鮮やかに写っているのも作品の魅力を引き立てています。



↑「オタアの道」新部達大さま

筆島を見下ろす岩壁の上に立つオタア・ジュリアの十字架と天の川の作品です。天の川の暗黒星雲の濃さや雲のように見えるバルジの写り方が、伊豆大島の夜空の暗さを物語っています。



↑「雨の日の椿」kcame\_raphotoさま

しとしとと降る雨の中、水滴を身に纏った椿がどこか儚げに見える目を引く作品です。雨降る島を散歩すると、見方次第では素敵な光景に出会えることを気づかせてくれる印象的な作品です。



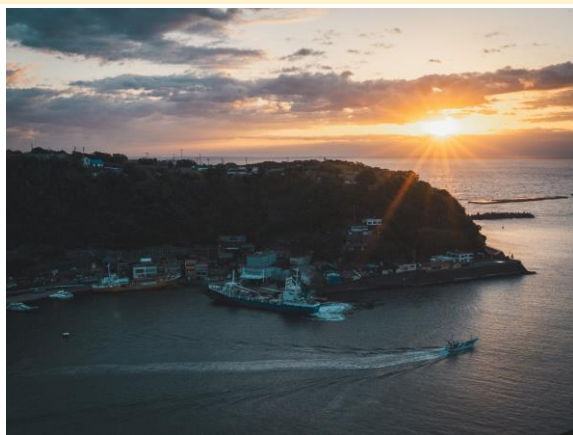
← 「美粧」  
柿崎芳明さま

椿の花粉を口のまわりにいっぱいつけたヒヨドリが愛らしく写っています。椿を突いたことを隠そうとするようなとぼけた表情もユーモラスで面白く感じました。



← 「黄色いバームクーヘン」  
岩永充生さま

鮮やかな黄色が特徴的な大島バスは伊豆大島の生活と観光を支える重要な移動手段です。雲一つない爽やかな青空とのコントラストがとても印象的でした。



← 「出航の合図」  
小林優太さま

雲間から差す暖かい日差しを浴びながら大海原へと出航する一隻の漁船が写っています。波浮港の朝の光景を美しく捉えた一枚です。



← 「春のお化粧」  
米田真治さま

本州のメジロよりも一回り大きいシチトウメジロが次の狙いを定めて飛びだそうとしている様子が写っています。一緒に写っているオオシマザクラとのコラボが美しい作品です。



← 「雪化粧の火口」  
野木靖子さま

三原山火口を望むと溶岩や火山灰が積み重なったことでできた荒々しい景観を見ることができます。薄らと積もった雪の白さがそれを引き立て、より一層迫力のある作品になっています。



← 「大島牛乳アイスが大好き」  
薦野奈津美さま

ソフトクリームを美味しく食べているお子様の表情がとても微笑ましく写っています。何口食べてもクドさを感じない爽やかな甘さが特徴的で、私も大好きなソフトクリームです。



← 「椿の雲」  
野口一樹さま

作品のタイトル通り、まるで雲の上をふわふわと歩いているような不思議な感覚になる作品です。私たちが普段見ないアングルで風景を捉えることの楽しさを教えてくれる魅力的な一枚です。